



登米市体育協会会長
佐々木 猛さん(68)

スポーツで市民が 幸せになるまち

2011年、スポーツ振興法を全面改正し、「スポーツ基本法」が施行されました。振興法は競技スポーツが中心でしたが、基本法は地域スポーツも重視。このようなことから、私たち協会も、競技力向上と生涯スポーツ振興に向けて、取り組んでいるところです。

生涯スポーツ振興は、各町に設置している総合型スポーツクラブ(以下、総合型)と連携して進めています。協会登録団体の会員が、総合型の役員や指導者として、数多くその普及に携わっています。総合型のメニューに参加し、競

技スポーツをしたい人を協会登録団体へ橋渡しできるメリットがあるからです。

競技力向上は、40代以上の種目の普及が必要だと考えています。現在、野球、卓球やサッカーなどで、競技スポーツを楽しむ人たちが増えています。野球は還暦野球で、アジア大会や全国大会に出場、卓球はねりんピックで上位入賞するなど、素晴らしい成績を上げています。

学校卒業後、社会人チームで活躍する人もいますが、結婚や仕事で競技から離れる人がほとんど。その先の受け皿

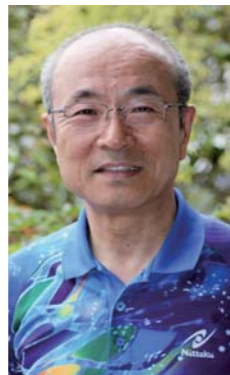
がなければ、本当の意味での生涯スポーツにはつながらないと思います。近年、ポルト、陸上やアーチェリーで、国体に出場するなど若い世代が優秀な成績を収めており、これをシニア世代につなげたいとも思っています。

私も高校まで、陸上競技をしていました。努力して結果を残すのももちろん、多くの人とつながるのがスポーツの魅力。スポーツは人を幸せにします。多くの市民が幸せになれるよう、今後も、行政地域と一体となり、スポーツ振興に取り組んでいきます。



登米シニアFC
星 聡さん(49)
追町江合

経験者の先輩たちが、自分たちが楽しむだけでなく「サッカーへの恩返し」のため、約10年前チームを設立。2年前から県40代のリーグに参加しています。今後、50、60代と3世代登録できるように、続けていきたいと考えています。



登米ラーズ和
白石和夫さん(69)
中田町石森長根

週4回、迫スワンズの皆さんと共同練習をし、汗を流しています。年を取っても、本気でスポーツをできる環境があるのは素晴らしいことです。9月に秋田で開かれるねりんピックに出場します。よい成績が残せるよう頑張ります。

2012年に本市で開かれたねりんピック卓球では、本市の選手が大活躍。本市では、野球、卓球、サッカーなどが体育協会に登録。陸上などでは、多くの人がサークルを結成し、活躍しています。

島崎幸市市生涯学習課長補佐は「健康保持のウオーキングから、競技スポーツでアジア大会に出場する選手がいるなど、本市のスポーツを楽しむ人たちの幅は非常に広い。市民皆さんがいつでも健康で楽しめるよう、体育協会や総合型地域スポーツクラブなどと連携し、環境の整備を進めたい」と話します。

夏に向けて心地よい季節、皆さんスポーツで汗を流しませんか。

レベル高い中高年競技環境整備を進めていく



40歳を過ぎてもなお現役 裾野広がるシニア競技人口

「体力的に一般のクラブは無理」「年を取ったけど、本気で競技を続けたい」。諦めるのはまだ早い。シニア競技は広がりつつある

